

少年の主張大会

日常生活の中で感じる想いや考えを熱く語る

6月21日（日）に古川町コミュニティセンターで開催され、市内各校から選ばれた中学生7人、小学生8人が登壇しました。

それぞれ日常生活の中で感じる想いや考えを自分自身の言葉で表現しました。

県大会飛騨地区選考会には、井端結衣さんと磐佐柑那さんが進みます。

また、古中生3人に進行役をお願いしたほか、「ひだふるかわ音楽の森合唱団」「ひだソーノ合唱団」の皆さんが合唱を披露し、子どもたちが活躍しました。



中学生の部 発表者

- 井端結衣さん 『弱さも認め合える社会を』
- 磐佐柑那さん 『灯火をつなぐ』
- 磐佐心那さん 『何気ない日々にもこそ価値がある』
- 沖田陽向さん 『SNS を使いこなせ！』
- 田立心さん 『向かい風を追い風に』
- 森下天音さん 『見えない空気』
- 山平煌莉さん 『「普通」って何？』

小学生の部 発表者

- 穴田璃子さん 『友だちとの関わりについて』
- 岩佐拓磨さん 『食のバリアフリーを実現したい』
- 大下花さん 『宮川小での私』
- 川端泰芯さん 『自分らしさ』
- 清水小梅さん 『わたしのともだち』
- 清水心晴さん 『山之村の誇り～私たちが愛する「きつねつり」～』
- 中貝理瑚さん 『元気な生活は、ひいばあちゃんから学ぶ』
- 水川直太郎さん 『牛飼いにになりたい』



7月は
「青少年の被害・非行防止全国強調月間」です

スローガン
「青少年 地域で守ろう 育てよう」
「なくそう非行 地域で育む青少年」

変化の激しい時代の中でも将来を担っていく子どもたちの健やかな成長のため、地域で一体となって子どもを守り、青少年の健全育成と非行防止に取り組みましょう。

問 生涯学習課 ☎0577-73-7495

市ホームページから
当日の様子を
ご覧いただけます。





6/1 古川小の児童らが広葉樹の鉢キットで野菜づくりに挑戦！

(株)イバタインテリアの協力で制作された鉢キットを使い、古川小学校の1、2年生が植物の栽培に挑戦することになり、鉢の組み立てを行いました。1年生はアサガオ観察、2年生はトマト栽培に挑戦します。



6/2 飛騨市神岡図書館が移転から10周年を迎えました

飛騨市神岡図書館が旧神岡町図書館(神岡町船津地内)から移転して今年で10周年を迎えたことを記念し、6月を10周年記念月間としてさまざまな展示やイベントを開催しました。



6/5 河合、宮川両園で「こどもの日」祝い朴葉ずしづくりを行いました

河合保育園と宮川保育園が、1カ月遅れの旧暦で端午の節句を祝う飛騨地域の伝統にちなみ、3歳以上の園児らを対象に郷土料理である「朴葉ずし」を作る体験を行いました。



6/1 飛騨市が「美食都市アワード2026」を受賞しました

(一社)美食都市研究会が主催する今年度の「美食都市アワード」の受賞都市の1つに飛騨市が選出され、地元の生産者や飲食店、商工関係者などを招いた受賞式典が開催されました。



6/2 古川西小学校の5年生が田植え体験をしました

古川西小学校の5年生児童が毎年総合的な学習の時間の一環で取り組んでいる「米づくり」体験が始まり、古川町中野の農事組合法人「みのりの里」の皆さんの指導で田植え体験が行われました。



6/5 県博物館学芸員が神岡中1年生を対象に化石特別講座

神岡中学校の1年生43名を対象とした化石の出前講座が開かれました。生徒らは、隕石や恐竜の卵のレプリカ、ワニの骨標本などを観察しながら、岐阜県博物館の高津翔平学芸員の話に耳を傾けました。



6/11 宮川下流漁協が 「河川環境調査」を行いました

ダムからの放水量抑制が河川環境におよぼす影響を調べるため、宮川下流漁協は宮川町巣之内、打保、塩屋、加賀沢で河川の流量や水質、生息する魚類などの調査を行いました。



6/12 宮川小学校の児童が 稚アユの放流を体験しました

宮川町の宝であるアユにふれながら、地域の皆さんとのつながりを学んだり自分たちにできることを考えてもらおうと、宮川小学校の児童を対象に稚アユの放流体験が行われました。



6/12 吉城高華道部が認知症啓発に向け キバナコスモス種まき会を実施

吉城高校華道部の生徒らが、認知症啓発のシンボルカラーであるオレンジ色の花を咲かせる「オレンジガーデニングプロジェクト」に参加し、キバナコスモスの種まき会を行いました。



6/14 古川町第3区が独自の 「防災訓練」を実施しました

飛騨市総合防災訓練の一環として、市の防災モデル地区に指定されている古川町第3区が、家族ぐるみで参加しやすく、分かりやすい情報提供などを目的に独自の工夫を凝らした防災訓練を実施しました。



6/15 「第54回消防救助技術東海地区指導会」選手選考会が行われました

救助隊員に必要な技術や体力、気力の向上を目的として救助技術を競い合う「第54回消防救助技術東海地区指導会」に出場する消防隊員の選考会を飛騨市消防本部が実施しました。



6/15 飛騨市出身の映像作家・泉原さんの リバイバル展を開催

「ベルリン国際映画祭」など国内外で高く評価されている飛騨市出身の映像作家・泉原昭人さん(東京都・62)のリバイバル展が、古川町の街なかポケットミュージアムで始まりました。来年2月28日まで。



6/15 農業の初心者を対象にした
農業講習会が始まりました

農家の高齢化や若者の農業離れにともなう担い手不足、耕作放棄などによる地域資源の未活用といった課題解決に向け、広く農業人材を育成しようと初心者向け農業講習会が開催されました。



6/16 市内にある公共施設の在り方を見直す部会を発足しました

市内に900以上ある公共施設のうち、特に維持修繕や将来の大規模改修に多額の費用がかかる20施設について、施設廃止も含めた今後の方向性などを検討する「飛騨市公共施設在り方検討部会」が発足しました。



6/20 大型低温重力波望遠鏡「KAGRA」が
9年ぶりに一般公開されました

神岡鉱山の地下200mにある大型低温重力波望遠鏡「KAGRA」の実験施設が9年ぶりに一般公開されました。市民をはじめ全国から200人が参加し、内部を徒歩で見学しながら研究者の話に耳を傾けました。



6/21 「市長杯ゴルフ大会」に市内外から
40人が参加しました

飛騨数河カントリークラブの主催で、飛騨市長杯ゴルフ大会が開催され、市内外から40名が参加しました。大会結果は【優勝】岩見哲洋さん(中央)【2位】二山真二さん(右)【3位】守田直人さん(左)でした。



6/21 宮川から海の未来をつなぐ
「清流レスキューミッション」を開催

川から海へと流れ込む海洋プラスチックを抑制するため宮川下流域で河川の清掃活動が行われ、地域住民とヒダスケ参加者ら36人が参加。プラスチックや金属、可燃物など約40キロを回収しました。



6/24 古川中1年生がゲーム「風水害24」で
防災を学びました

災害時を想定したシミュレーションゲーム「風水害24」を体験しながら防災の知識や技能を学ぶ授業が古川中学校1年生を対象に行われ、生徒らは楽しみながら防災に関する実践的な学びを得ました。